

日本学術会議総合工学委員会
ICO 分科会(第 26 期 第 5 回)
議事要旨

日時: 令和 7 年 4 月 15 日(火) 15:00~16:15

場所: 日本学術会議6階会議室6-C(3) 及びオンライン(ハイブリッド開催)

出席者: 荒川泰彦委員長、松尾由賀利副委員長、馬場俊彦、美濃島薫(遠隔); 各幹事、笹木敬司(遠隔)、清水祐公子(遠隔)、中野義昭(遠隔)、西澤典彦(遠隔)、納富雅也、野田進(遠隔)、早瀬潤子、松尾慎治; 各委員

配布資料

- 5-1 前回議事要旨
- 5-2 分科会の活動報告
- 5-3 ICO の状況報告
- 5-4 シンポジウム開催計画

(参考資料)

- ICO 分科会委員名簿
- 光科学技術調査企画小委員会委員名簿

議題

(1) 前回議事要旨の確認

資料5-1にもとづき、松尾(由)副委員長が前回議事要旨を説明、確認した。
資料5-2は総会用の分科会活動報告である旨、荒川委員長より説明があった。

(2) ICO の活動状況報告

美濃島幹事(ICO Vice-president)より、資料5-3にもとづき、第 4 回 ICO 分科会(2024 年 7 月 25 日)以降の ICO の活動についての報告と質疑が行われた。主な内容は以下のとおり。

1. 主催国際会議 ICO-26 が 2024 年 10 月 21-24 日に南アフリカ、ケープタウンで開催された。ノーベル賞受賞者による基調講演は D. Strickland 博士と A. L'Huillier 博士。講演は 100 件程度、25 か国から参加。日本からは 10 名程度。ICO-27 の北京開催が決定。
2. ICO General Meeting が ICO-26 と同時開催された。新会長にメキシコの E. Rosas 博士を選出。美濃島幹事が副会長に再選された。南アフリカの Territorial Committee 加入を承認。
3. ICO Award について紹介があった。ICO Prize は 40 歳未満の優れた業績の若手研究者に授与される賞であり、ICO Prize 2024 の受賞者は中国上海交通大の Qing 氏であった。2025 の締切は 4 月 15 日。その他にも ICO の賞が複数あり、News Letter で告知されている。

(3) シンポジウム開催について

馬場幹事より、資料5-4にもとづき、国際光デーシンポジウム開催計画について説明があった。本年も開催することを決定。開催日程は、会場の予約状況との関係で 7 月 7 日。講演数 4 件とポ

スター発表とすることを決定し、テーマおよび講演者について意見交換を行った。これらの意見を受けて、プログラムは幹事団に一任することが承認された。

後日、五神真(理研)、竹内繁樹(京大)、奈良崎愛子(産総研)、松尾慎治(NTT)の各氏に講演を受諾いただいた。

(4) その他

以下のアナウンスと意見交換が行われた。

1. 委員会名簿のアップデートについては、馬場幹事に連絡。
2. ICO 分科会において取組むべき課題、ICO への期待について意見交換。
3. 次回委員会は、7月7日のシンポジウムの前に開催予定。

以上
(松尾(由)記)